



平成19年1月29日

各 位

会 社 名 協和発酵工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松田 譲  
(コード番号 4151 東証第一部)  
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長  
久我 哲郎  
(TEL:03-3282-0009)

## ゼリア新薬工業株式会社との 炎症性腸疾患治療剤「ASACOL®」(「アサコール®」) の共同開発及び共同販売契約の締結について

協和発酵工業株式会社（東京都千代田区 代表取締役社長：松田 譲）は、ゼリア新薬工業株式会社（東京都中央区 代表取締役社長：伊部 幸顕 以下、ゼリア新薬）が2004年に日本における独占的権利をスイスのティロツツ社（Tillotts Pharma AG）より取得し、現在、ゼリア新薬が臨床開発（臨床第Ⅲ相試験）を実施中の炎症性腸疾患治療剤「ASACOL®」（「アサコール®」）。開発コード：Z-206。一般名：メサラジン。なお本剤はメサラジンの経口腸溶製剤）について、両社による共同開発ならびに承認上市後の共同販売を実施する契約を2007年1月29日付で締結いたしましたのでお知らせいたします。

本契約により本剤は今後、潰瘍性大腸炎を対象とする臨床開発はゼリア新薬単独で、クロhn病を対象とする臨床開発は両社共同で行い、ゼリア新薬が製造販売承認を取得後、両社で共同販売を実施することになります。

上市後の製品流通・製品販売・情報提供収集活動については、両社それぞれに（1ブランド・2チャネル）実施する予定です。

「ASACOL®」は、メサラジンにpH依存型放出制御特性を持たせたコーティングを施した腸溶製剤であり、すでに世界53ヶ国で販売され、その売上高は現在、世界の炎症性腸疾患治療剤市場の約3分の1を占め、トップシェアとなっています。

本剤は下部消化管（回腸末端～大腸）に到達してから薬効成分を放出する製剤設計となっているため、特に炎症性腸疾患の下部消化管病変への効果が期待されます。

潰瘍性大腸炎は、大腸及び小腸に慢性の炎症または潰瘍をひきおこす炎症性腸疾患の中でも、大腸粘膜に起こる炎症性疾患です。一方、クロhn病は消化管のあらゆる部位に発症しますが、特に回腸末端部、結腸及び直腸に炎症病変がみられます。

両疾患ともに腹痛・出血・下痢を呈する再発難治性の慢性腸疾患で、国内の患者数は漸増傾向にあります。

当社は、消化器疾患領域において消化管運動改善剤「ナウゼリン®」、向粘膜作用性潰瘍治療剤「グルマール®」、胃潰瘍・十二指腸潰瘍治療剤「グルミン®」等を製造販売しており、新たに本剤が加わることにより、一層の医療現場に対しての寄与・貢献が出来るものと考えています。

以上